



【速報】大阪成蹊大学の志願者数が2年で約1.9倍に急増し、5,000名を突破 経営学部12.7倍、国際観光学部7.9倍と「社会科学系」が爆発的人気 2024年からの入試改革が奏功

大阪成蹊大学（所在地：大阪市東淀川区/ 学長：中村佳正）は、令和8年度（2026年度）入試における総志願者数が5,000名を突破し、5,160名となりましたことをお知らせいたします。本年度の志願者数は、昨年比約1.4倍、一昨年比では約1.9倍と驚異的な伸びを記録いたしました。

■ 本件のポイント

- 総志願者数：2024年度比で約1.9倍となり、過去最高水準の5,000名超に激増しました。
- 2024年度より着手した「新体制での入試改革」が、変化する社会に対応する学びを求める受験生から高い支持を得ました。
- 社会科学系学部の爆発的人気：経営学部、国際観光学部の公募推薦入試倍率がそれぞれ12.7倍、7.9倍に達するなど、実学志向の受験生から圧倒的な支持を得ました。2027年4月には、経済学部*の開設を予定しています。

■ 志願者急増の背景：新体制による「選ばれる理由」の確立

本学では2024年度より、学部間の垣根を越えたりベラルアーツの強化や、企業・地域との共同プロジェクトを主軸とした「実社会に直結する学び」を推進してまいりました。変化する社会に対応した独自のカリキュラム刷新や、各種コンペティションを通じた学生の発表機会の拡充といった「学生の成長を正真に置く改革」が、受験生・保護者、および高校教諭から高い評価を得た結果であると分析しています。

■ 学部別トピックス：社会科学系の躍進と専門職系の安定

特に顕著な伸びを示したのは「社会科学系学部」です。キャリア形成を意識した実学重視の姿勢が、総志願者数の押し上げに大きく寄与しました。

経営学部：公募推薦入試で12.7倍、一般入試でも8.7倍という極めて高い競争倍率を記録。

国際観光学部：公募推薦入試の競争倍率が7.9倍に達し、観光産業の復活を背景とした国際的な学びへの期待が反映。

看護学部・教育学部：看護学部、教育学部の志願者数がそれぞれが昨年比1.5倍、1.4倍と大幅増。地域連携プログラムや教員採用試験の合格実績や評価の軸となっています。

■ 今後の展望：2027年4月「経済学部*」開設へ

本学は、この勢いをさらに加速させるべく、2027年4月に「経済学部*」の開設を予定しております。既存の学部とのシナジーを生かし、次世代の社会を担う人材育成をさらに強化してまいります。新体制のもと、絶えず進化を続ける大阪成蹊大学にぜひご注目ください。

* 仮称・設置構想中。計画は予定であり、内容に変更が生じる場合があります。

< 取材申し込み・お問い合わせ先 >

大阪成蹊大学 広報統括本部 担当：草野

大阪市東淀川区相川3丁目10番62号 TEL:06-6829-2606 Mail: kouhou@osaka-seikei.ac.jp